

# ふくし TIMES

http://www.knsyk.jp

vol. 746

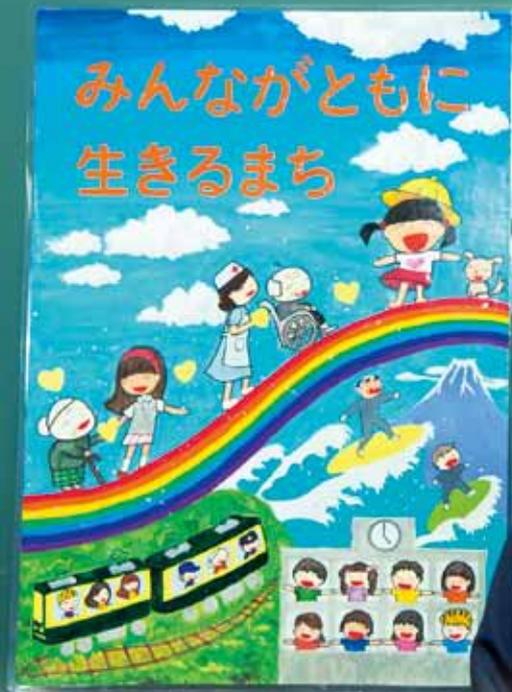


ともしび運動

2014. 1

福祉タイムズ

編集・発行 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会



〈撮影・菊地信夫〉

## みんながともに生きるまち

第34回ともしびポスターコンテストでともしび大賞を受賞した久野綺音さん(鎌倉市立大船中学校3年)。富士山が見えて海も見える地元鎌倉を、江ノ電が駆け抜けていく景色をイメージして、虹を中心に明るく仕上げた。「ともに生きるってどういうこと?」と考えたという久野さん。安心したり楽しいと思えること、そこには笑顔がある。一人ひとりが気づいた事をやっていくことで、支え合い、笑顔が生まれる。みんなが笑顔で暮らせることが「ともに生きること」だと気づいたと優しくほほ笑む。

## contents

- 02 県社協のひろば  
年頭挨拶／ともしび基金を活用した取り組み
- 04 NEWS & TOPICS  
2013年福祉の動き
- 06 私のおすすめ  
寒い季節は子ども科学館で全身を使って遊ぼう!
- 07 福祉最前線  
おやじ倶楽部(南足柄市)
- 08 連載 「社会的孤立」とは何か(第4回)
- 10 県社協のひろば  
・第16回介護支援専門員実務研修受講試験合格状況  
・第2回きらっと輝く製品コンテスト表彰式開催報告
- 12 かながわHot情報  
第27回ともしび絵本コンテスト大賞受賞作品紹介

## 年頭のご挨拶

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、2020年のオリンピック・パラリンピックの東京開催や富士山の世界文化遺産登録など、日本中が歓喜にわいた年でした。

また、一昨年に続き台風や竜巻、集中豪雨などの自然災害に対する支援や東日本大震災からの復興支援に向けた継続的な取り組みなど、人と人とのつながりの大切さをあらためて実感する年でもあったように思います。

一方、少子高齢化の進展に伴う人口構造の急激な変化により、年金・医療・介護などの社会保障給付は年間100兆円を超える水準に達しており、国では、全ての国民世代の暮らしを支える、持続可能な社会保障制度の再構築に向けた見直しを進めています。

また、家庭や地域の環境、経済構造等の変容により、生活困窮、社会的孤立等、既存の制度の枠組みだけでは十分に対応できない新たな福祉・生活課題が顕著となっており、「生活困窮者自立支援法」の成立など、支援に向けた準備が進められているところです。

本会としても、新たな制度の確立を視野に、社会福祉関係者の使命や役割等の再確認と、その力を最大限に発揮していくために必要な取り組みを進めるとともに、社会福祉法人による、要支援者に対する総合的な生活相談支援「かながわライフサポート事業」を着実に推進し、複雑多様化する課題にこたえてまいりたいと考えております。

これらのニーズを的確に捉え対応していくためには、地域の第一線で活動を実践される法人や福祉施設、民生委員児童委員、保護司、市町村社協、関連諸団体等との連携・協働を、これまで以上に積極的に進めていくことが求められています。

本年も、皆さまのお力添えを賜りながら地域福祉の推進に努めてまいりますので、引き続き一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会

会長 篠原 正治

## 支え合って生きることの大切さを伝えたい

「ともしび基金を活用した取り組みから」

本会では「ともしび基金」をはじめ、「かながわ交通遺児援護基金」「かながわ子ども福祉基金」「萬谷児童福祉基金」を設置し、多くの皆さまにご支援・ご協力をいただいています。

特に12月は、「ともしび基金」に寄せられた寄附金の集結を実施し、ともしび基金募金箱の設置にご協力をいただいている公衆浴場・スパ・病院・ボウリング場・J・A・行政機関等から寄附金が集まります。

この「ともしび基金」は、昭和52年の創設以来、県民の皆さまに育てられ、平成25年11月末現在、約23億400万円までになりました。

お寄せいただいた寄附金は、基金原資として積み立て、その果実（利子）をさまざまな事業に活用しています。

その一つには、ボランティアや当事者グループ、市町村ともしび運動推進組織等が行う支え合いや地域でのつながりづくり等を目的とした活動への助成があり、本年度は12月までに、76団体・計2106万円を助成しています。

ここでは、助成した三つの組織・グループの実践を紹介します。

### 「当事者とのさりげない出会い」

—海老名市社協

海老名市役所一階にある喫茶室『ともしびショップばれっと』（以下、「ばれっと」）では、市内のアクセサリー会社との協働による、バラのモチーフづくりや秋のメイクレッスン等の教室が開催され、女性を中心とした参加者がお茶を飲みながら楽しい時間を過ごしています。これは、より多くの人が、ばれっとで働く障害のあるスタッフと出会い、関心を持ち、困り事や悩みを知るきっかけにしてほしいと、海老名市社協とばれっとが協働して取り組み、さまざまな立場の人をつないでいます。本年度は、定員を超える多くの方が参加され、その数は延べ60人。「誰でも気兼ねなく、声掛けができるようになった」との声も聞かれています。

また、このほかに、本会で開催しているポスター・絵本コンテスト【関連記事1・12面】に応募した子どもには飲み物券を配布する等、家族で来店してもらえよう工夫もしており、海老名市社協の岩澤剛さんは「社協とばれっと、アクセサリー会社やボランティアがつながり、活動

の幅が広がった。さりげない出会いの場を通じ、より多くの人々に障害への理解を深めてもらいたい」と、これからの抱負を語ります。

### 閉じこもりがちな方の地域の居場所 —サタデーサロン—

「精神障害等の理由で家に閉じこもりがちな方々の地域での居場所が少なく、新しい受け皿をつくりたい」との思いから、横浜市中区でスタートした『サタデーサロン』(以下、「るる」)。誰もが参加できるサロンを基本理念に、当事者が運営にかかわり、横浜YWCAの会議室等を借りながら、平成25年4月から12月末までに計18回開催し、延べ380人の方が参加しています。

るるには、軽食づくりや音楽・美術・花との触れ合い、そして、就労につながることも期待したアロマ体験講座の助手役など、さまざまな活動があります。

これらの活動、そして支える人々



サタデーサロンの活動の様子。この日のテーマは、「音楽で遊んじゃおう!」誰もが参加しやすい雰囲気づくりを心掛けています

### ともしび基金をはじめ、各種基金への 皆さまの温かい心に感謝申し上げます! (12月寄附者の皆さま)

【一般寄附】妙深寺婦人会 【交通遺児援護基金】▽神奈川県石油業協同組合(株)小田原ジムキ(山田克己) 【子ども福祉基金】▽佐藤和成▽県社会福祉会館 【ともしび基金】▽協隆志▽山崎忍▽よねの湯▽いなり湯▽ニュー銭湯かまぼろ温泉▽中乃湯▽第二常盤湯▽喜久の湯▽中山浴場▽中区浴場組合▽千代田湯▽丸子温泉▽JA田奈▽JAセレサ川崎▽JA横浜▽JA神奈川県信連▽JANAかながわ西湘▽ともしびショップマリンマともしびショップさくら▽ともしびショップぼいんと・1▽ともしびショップファースト▽かながわ県民センターともしびショップグッズコーナー▽ともしびショップ保健福祉大学マスリーエフ日ノ出町駅前店▽(公財)神奈川芸術文化財団▽川崎愛泉保育園▽(獨)神奈川県社会福祉事業団箱根老人ホーム▽(獨)神奈川県社会福祉事業団横須賀老人ホーム▽(獨)神奈川県総合リハビリテーション事業団▽(N)秦野市障害者事業推進センター▽相模原市立上溝南小学校▽(学)岩崎学園横浜 f カレッジ▽(学)岩崎学園情報科学専門学校横浜西口校▽(学)岩崎学園情報セキュリティ大学院大学▽(学)岩崎学園横浜医療情報専門学校▽(学)岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校▽(学)岩崎学園横浜リハビリテーション専門学校▽(学)岩崎学園横浜保育福祉専門学校▽(学)山本学園横須賀法律行政専門学校▽(N)光輝横浜スクール▽(獨)湘南福祉協会総合病院湘南病院▽(公財)積善会リバーイースト▽(獨)聖テレジア会鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院▽神奈川県教職員組合▽(公財)神奈川看護協会▽(-社)神奈川健康生きがいづくりアドバイザー協議会▽(公財)神奈川県薬剤師会▽(獨)湘南アフタケア協会▽(-社)かながわ土地建物保全協会▽(公財)神奈川県身体障害者連合会▽(公財)神奈川県老人クラブ連合会▽神奈川県手をつなぐ育成会▽神奈川県知的障害施設団体連合会▽やまゆり知的障害児者生活サポート協会▽(公財)神奈川県社会福祉士会▽神奈川県交通遺児家庭の会▽(N)神奈川県ホームヘルプ協会▽(公財)神奈川県福利協会▽神奈川県医療福祉施設協同組合▽(-社)神奈川県保育会▽神奈川県保育士会▽ゆりの会▽(N)フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会▽神奈川県心身障害児者父母の会連盟▽神奈川県肢体不自由児者父母の会連合会▽(-社)神奈川県高齢者福祉施設協議会▽(N)神奈川県障害者地域作業所連絡協議会▽神奈川県警察本部▽神奈川県職員一同▽(獨)神奈川県共同募金会職員一同▽本会職員一同(計1,267,897円) 【寄附物品】▽(公財)あゆみの箱▽神奈川トヨタ自動車(株)▽神奈川県定年問題研究会▽横浜市立中和田小学校PTA学年学級▽神奈川県職員一同▽神奈川県警察本部(いずれも順不同、敬称略)

の存在。るるは、生きづらさを抱える当事者にとって、悩みを共有し、自らの役割を見出すことのできる貴重な居場所の一つといえます。代表の山口徳江さんは「継続して参加する当事者も多く、手ごたえを感じている。今後もニーズを掘り起こしていきたい」と、地域の居場所の必要性やニーズに即した活動メニューの提供等、これからの展望を話してくれました。

### 地域交流拠点の充実に向けて —ともしびショップ青林橋—

相模湖畔にある『ともしびショップ青林橋』(以下、「青林橋」)は、障害のあるスタッフの作るケーキな

どが好評で、観光客や近隣住民でい

こうした取り組みを機に、それま

つもにぎわっています。しかし、周辺地域は高齢化や過疎化が進み、孤立等の問題も深刻な状況にあります。このため青林橋では、従来の喫茶事業等に加え、地域交流拠点としての役割を果たせるよう、取り組みの幅を広げています。

これらの、地域の人々がさまざまな問題を受け止め、関係者とともに、その解決を目指す取り組みの一部で、皆さまの貴重な寄附により支えられています。

代表の小山創さんは「障害のある方の就労支援のみでなく、地域交流にも力を入れ、孤立を防ぎたい」と、日ごろから食事に訪れていた近隣の高齢者・障害者施設の利用者や介助者等に声を掛けて交流学習会を開催したり、自治会等と連携した支え合い活動にも取り組むようになりまし

ご支援をお願いいたします。(地域福祉推進担当)

(地域福祉推進担当)

# 福祉の動き

○全国の動き ◇県内の動き ★本会の動き

## 福祉関連の動き (○数字は本紙での関連記事掲載月)

## 社会の動き・事件・事故

6	5	4	3	2	1
<p>○国交省が「違法貸しルーム」の実態把握へ⑦</p> <p>○「改正障害者雇用促進法」が衆議院本会議で可決・成立。精神障害者の雇用を義務化⑦</p> <p>○「子どもの貧困対策の推進に関する法律」成立⑦</p> <p>○厚労省が「障害者虐待防止法」により、障害者を雇用する「使用者」による障害者への虐待の状況を初めて公表⑧</p> <p>◇県が健康寿命日本一を目指す「ヘルスケア・ニューフロンティア」の取り組みを開始</p> <p>◇県の「地域見守り活動」の協力団体が新たに14団体に。孤立死などを防ぎ、行政支援につなげることが目的</p>	<p>★県・県教育委員会・本会による「高校生介護職場体験促進事業」スタート⑥</p> <p>◇横浜市が市内の保育所待機児童0人達成を発表</p> <p>◇県が「県立障害福祉施設等あり方検討委員会」の設置を発表</p> <p>○「共通番号制度法（マイナンバー法）」成立</p> <p>○厚労省が「介護事業経営調査委員会」を開催。特別養護老人ホーム内部留保についての調査結果が報告される⑥</p> <p>○「公職選挙法」改正を受け、成年被後見人の選挙権が回復⑧</p>	<p>◇県が「かながわ健康プラン21（第2次）」の策定を発表。高齢化社会における健康づくりの推進が目的</p> <p>○特別支給の老齢厚生年金の支給開始年齢の段階的引き上げ開始④</p> <p>○厚労省が「貧困の連鎖」を防ぐため、生活保護世帯の子どもに学習支援策を強化する方針を示す⑤</p> <p>○障害者総合支援法「施行④</p> <p>○「障害者優先調達推進法」施行④</p> <p>○「高齢者雇用安定法」施行④</p> <p>○社会福祉法人の認可等に関する権限を一般市に移譲④</p>	<p>★社会就労センター協議会が「東北施設商品販売会」がらばろう東北」を開催④</p> <p>★パネルディスカッション「自立の難しさを抱えているわかもの地域生活を支える」開催④</p> <p>★「社協によるコミュニケーション実践に向けた提案集」を発行⑤</p> <p>◇相模原市が市議会で自殺対策基本条例案を可決④</p> <p>◇横浜原市が市議会で「出生前遺伝学的検査」を開始する方針を示す④</p> <p>◇「かながわ東日本大震災ボランティアアステーション」遠野センター（愛称：かながわ金太郎ハウス）が閉所③</p> <p>◇横浜原市が「横浜子ども若者実態調査」の結果を公表。「ひきこもり状態」にある15〜39歳の若者は推計8千人</p>	<p>○厚労省が小規模社会福祉施設への防火体制調査の協力を全国へ通知③</p> <p>○法務省が保護司の活動拠点となる「更生保護活動サポートセンター」を全国90カ所に増設する方針を示す</p> <p>◇川崎市が虐待を受けた子ども等を支援する「子どもの心理ケアセンター（仮称）」の整備基本計画を公表</p> <p>★市民後見人養成事業の基礎研修を平塚市で実施①</p>	<p>○厚労省の介護支援専門員に関する検討会の中間報告がまとまる②</p> <p>○東京地方検察庁が罪を犯した高齢者や障害者の再犯防止に向けて、社会福祉士を非常勤職員として採用②</p> <p>◇第1回きらっと輝く製品コンテスト開催④</p> <p>◇第5回神奈川県バリアフリー街づくり賞受賞者決定</p> <p>★第36回県福祉作文コンクール表彰式開催②</p> <p>★更生保護と社会福祉の連携に関する懇談会開催②</p>
<p>▽世界文化遺産に富士山が登録</p> <p>▽「ハーグ条約（国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約）実施法」成立</p> <p>▽平成24年の合計特殊出生率が1・41と、前年を0・02ポイント上回る</p>	<p>▽国内の15歳以下の人口が32年連続で減少していることが明らかに</p> <p>▽東京スカイツリーからテレビ本放送開始</p> <p>▽出雲大社で「本殿遷座祭」が営まれる</p> <p>▽プロスキーヤーの三浦雄一郎さん、80歳で3度目のエベレスト登頂成功</p>	<p>▽歌舞伎座が新装開場</p> <p>▽「改正公職選挙法」成立。インターネット選挙運動が解禁</p> <p>▽政府は育児休業を3歳まで延長。5年後には待機児童ゼロを目指す方針を発表</p>	<p>▽10種類の交通系ICカードの相互利用が開始</p> <p>▽ブエノスアイレス大司教のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿が266代ローマ教皇に</p>	<p>▽北朝鮮が3回目となる地下核実験を実施</p> <p>▽遠隔操作ウィルス事件の真犯人とされる男性が逮捕</p>	<p>▽平成49年までの復興特別所得税導入</p> <p>▽バラク・オバマ大統領が続投でアメリカ大統領に就任</p>

12	11	10	9	8	7
<p>○「プログラム法(持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律)」成立</p> <p>○「改正生活保護法」「生活困窮者自立支援法」成立</p> <p>○政府が「地域少子化対策強化交付金(仮称)」の新設を決定。自治体独自の少子化対策の促進がねらい</p>	<p>○厚労省が「障害者虐待防止法」に基づき通報などの件数の調査結果をまとめる<sup>12)</sup></p> <p>○県が横須賀市の県営住宅を「健康団地」として再生させる方針を示す<sup>12)</sup></p> <p>○県が保健福祉事務所・児童相談所を再編・統合する方針を示す<sup>12)</sup></p> <p>○県が「水道メーター分解作業等業務委託事業」を開始。処分する水道メーターを金属と廃棄物とに分解する作業を福祉事業所に委託し、就労機会を増やす</p> <p>★第9回地域福祉推進を考えるセミナー開催<sup>12)</sup></p>	<p>○厚労省は保育士確保のためハローワークの機能を強化<sup>11)</sup></p> <p>○横浜弁護士会が知的障害者の特性を学んだ弁護士の名簿を作成し、当番弁護士・国選弁護士として派遣を開始<sup>10)</sup></p> <p>○第7回子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー開催<sup>10)</sup></p> <p>★第62回県社会福祉大会開催<sup>11)</sup></p> <p>★福祉のしごとフェア2013開催<sup>9)</sup></p> <p>★理事長・施設長セミナー「社会福祉法人による生活困難者支援～いまできること、いまやるべきこと」開催<sup>12)</sup></p>	<p>○厚労省が「ひとり親」家庭への支援を強化する方向性を打ち出す<sup>10)</sup></p> <p>○厚労省が社会保障審議会・介護保険部会で特別養護老人ホームへの入所は「要介護3」以上の高齢者に限定し、福祉施設に代わる住居として空き家を利用する方針を発表<sup>10)</sup></p> <p>○厚労省が第1回社会福祉法人の在り方等に関する検討会を開催<sup>11)</sup></p> <p>○県が自殺未遂者が再び自殺を図らないよう、医療機関や保健所などの連携を強める方針を示す<sup>10)</sup></p> <p>★社会福祉制度・施策に関する提言を県・厚労省・市長会・町村長会へ提出<sup>10)</sup></p>	<p>○生活保護費の食費や光熱費などにあたる生活扶助費を引き下げ<sup>9)</sup></p> <p>○厚労省が社会保障制度改革国民会議の最終報告書を公表<sup>9)</sup></p> <p>○被災者らが「東京電力原子力事故により被災した子どもをはじめとする住民等の生活を守り支えるための被災者の生活支援等に関する施策の推進に関する法律」に違反していると国を提訴<sup>9)</sup></p> <p>○茅ヶ崎市が平成29年4月を目標に保健所自主運営の方針を発表<sup>9)</sup></p> <p>★社会福祉法人による総合生活相談支援「かながわライフサポート事業」開始<sup>9)</sup></p> <p>★県内の入所施設等を対象とした「看取りケアに関する調査」実施。看取りを経験した施設は78%<sup>9)</sup></p>	<p>○総務省が「平成24年就業構造基本調査結果」を公表。非正規労働者数が2042万人を超える<sup>8)</sup></p> <p>○法務省が6月の「改正更生保護法」成立を受け「社会貢献活動の在り方を考える検討会」を設置</p> <p>○南足柄市が児童の基礎学力を高めるため「金太郎学び塾」事業を開始<sup>3)</sup></p> <p>★第12回かながわ高齢者福祉研究大会開催<sup>8)</sup></p> <p>★福祉のしごとフェア2013夏開催<sup>6)</sup></p> <p>★成年後見制度市町村申立てマニュアル2013」を発行</p>
<p>▽天皇陛下、傘寿を迎えられる</p> <p>▽「特定秘密保護法」成立</p> <p>▽南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領死去</p>	<p>▽プロ野球「東北楽天イーグルス」初優勝</p> <p>▽最高裁が2012年衆院選を「投票価値の平等に反する状態」として違憲判決</p> <p>▽中国が尖閣諸島を含む防空識別圏を設定</p>	<p>▽生活保護受給者の後発医薬品の使用を原則義務化</p> <p>▽伊勢神宮で「遷御の儀」が営まれる</p> <p>▽台風26号に伴う豪雨により伊豆大島で大規模な土石流が発生</p> <p>▽政府は、平成26年4月1日に消費税率を現在の5%から8%へ引き上げ決定</p>	<p>▽最高裁判所、婚外子(非嫡出子)相続格差の規定は違憲との判決</p> <p>▽65歳以上高齢者が総人口の4人に1人に</p> <p>▽「いじめ防止対策推進法」施行</p> <p>▽2020年オリンピック・パラリンピック開催地が東京都に決定</p>	<p>▽国際通貨基金(IMF)の年次審査報告書でアベノミクスによる景気見通しを「著しく改善」と評価</p> <p>▽福島第1原子力発電所の貯蔵タンクから約300トの放射能汚染水が漏れが判明</p> <p>▽高知県四万十市で国内最高気温41度を記録</p>	<p>▽参院選、自民党圧勝で「ねじれ国会」解消</p> <p>▽国内の高齢者世帯が過去最多、世帯平均人数は過去最少</p> <p>▽環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の交渉に日本が正式参加</p>

+

+

# 私のおすすめ

## 寒い季節は子ども科学館で 全身を使って遊ぼう！

1月から2月にかけては寒さが最も厳しくなる頃。大人はできるだけ外出を控えたいものですが、“子どもは風の子！”です。元気を持って余した子どもたちにおすすめしたいのは『子ども科学館』へのお出かけ。展示物には見るだけでなく、自分で動かして科学のおもしろさを体感できるものがあり、親子で全身を使いながら遊ぶことによって寒さが吹き飛んでいきます。

### ❖ 子どもたちの好奇心がはじける科学館

子ども科学館の展示物では、光・音・力・電気・運動などの身の周りの現象を体感。科学と聞くと難しいイメージを抱きますが、各館の工夫を凝らした展示物に触れば、子どもたちは「どうしてこうなるの？」と好奇心をかきたて、すぐに夢中になります。小さい子どもも楽しめて、思いきり遊べる3館と、どのような展示物があるのかをご紹介します。

### ❖ 伊勢原市立子ども科学館



展示室は6コーナーに分かれ、雷・空気・影などの実験ができる展示物がいっぱい。土・日曜祝日には工作や実験教室が行われ、プラネタリウムや天体観測室もあります。



滑車によって小さな力でも大きな物を持ち上げられる展示物では、「よいしょー！」と力が入ります

### ❖ 神奈川工科大学厚木市子ども科学館

展示ホールには手作りの展示物が数多く並び、親しみやすい雰囲気。土・日曜には実験や工作教室、プラネタリウムも楽しめます。



自転車を漕いで発電機を動かし、扇風機を回す展示物では、挑戦する誰もが思わず熱中！

今月は ⇒ (N)ままとんきっず がお伝えします！

今年で子育て支援活動21年。お母さんたちが主体となって、親子が集うサロン運営、グループ保育、各種講座の開催、産後サポート、子育て支援センター運営などを展開。情報誌・単行本の発行物は40冊を超え、一部は海外でも翻訳出版。『子育てしながら輝いて生きる ー0～6歳 育児を楽しむママたちの声ー』も大好評。2010年の内閣府「チャイルド・ユースサポート章」を受賞。

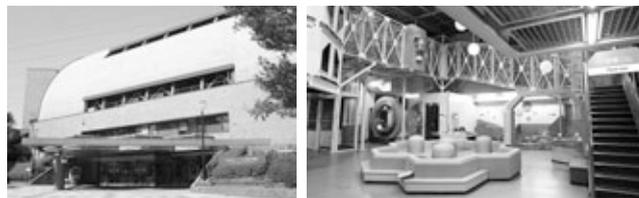
<連絡先>川崎市多摩区菅稲田堤3-5-43

☎/FAX 044-945-8662

URL <http://www.mamaton.jp.org/>



### ❖ はまぎん こども宇宙科学館



地下2階から5階までの建物は巨大な宇宙船をイメージ。(写真左上) 宇宙や科学の不思議を学べる展示室があり、毎日開催のスタッフによるミニ実験やプラネタリウムも人気です。

地球の約6分の1の月の重力を体験できる展示物では、驚くほど高くジャンプができます

外はまだまだ冬空です。たっぷり遊んで汗をかいたら、風邪をひかないように注意しましょうね。

## インフォメーション

### ■ 伊勢原市立子ども科学館 (伊勢原市)

☎0463-92-3600 FAX0463-92-3601/開館時間：午前9時～午後5時/休館日：月曜日(祝日、夏休み期間中は開館)、第1水曜日/入館料金：大人300円、小・中学生100円

### ■ 神奈川工科大学厚木市子ども科学館 (厚木市)

☎046-221-4152 FAX046-224-9666/開館時間：午前9時～午後5時、第3月曜日(祝日は第2月曜日)は正午開館/休館日：無休/入館料金：無料

### ■ はまぎん こども宇宙科学館 (横浜市)

☎045-832-1166 FAX045-832-1161/開館時間：午前9時30分～午後5時/休館日：第1・3月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館あり/入館料金：大人400円、小・中学生200円(毎週土曜日は小・中学生、高校生無料)

# 福祉最前線

—現場レポート—

◎このコーナーでは県内各地の福祉関連の当事者・職能団体等の方々から日ごろの取り組みをご寄稿いただきます。

## おやじ倶楽部

副会長 菊地 敏彦



平成19年発足。会員13人。南足柄市社協主催の「おやじの料理教室」に参加した、60～70代の男性メンバーが中心に活動するボランティアグループ。地域イベントでの食の提供・野菜づくりなどを行う。

〈連絡先〉 ☎0465-72-2299 FAX0465-74-3276

(南足柄市社協ボランティアセンター内)

## 人生の振り返りと新たなスタート

平成16年に、私は定年退職を迎えました。ボランティア活動を始めたきっかけは南足柄市社協主催の「おやじの料理教室」です。市の広報を見た妻に勧められたことで、私の新たな人生の扉が開かれました。

参加初日のメニューは「おやじ・にぎり飯」「メタボ撃退スペシャル豚汁」「骨太第一フルーツヨーグルト」。平成19年には、おやじ倶楽部のボランティアとして、赤のネッカチーフを巻いたシェフスタイルで市主催の健康フェスタに参加し、「スタミナがんこおやじカレー」を提供しました。おやじたちを叱咤(時々激励)し、指導してくれる社協の女性職員のおかげで料理を振る舞うまでに上達し、家族からとても喜んでもらっています。

おやじ倶楽部の主な活動は、食の提供と「おやじ農園」での野菜作りです。この農園に障害のある方や保護者をお招きして収穫体験を行った時、畑の土の匂い・間近に見る野菜の花の美しさやじゃがいもの根に付く小芋を見て、かわいいと感激されていたのが私には印象的でした。大収穫の場合には福祉関係団体にも寄附しています。

ただ、この農園の最大の試練はイノシシ被害。昨年はさつまいもが全滅でショック。でもイノシシが餓えを凌ぐことができたと思えば良かったのかな…と。

また、食の提供として、高齢者支援事業で「おやじハヤシライス」を振る舞ったときのこと。一人暮らしの方の「みんなで食べるとおいしいね」という言葉に、テレビを見て独りポツンと食べる姿が想像され、この活動の大切さを知りました。障害児一時預かり事業等での「おやじカレー」づくりでは、毎日頑張って生活する子どもたちや、子どもと向き合い明るく笑顔を絶やさないお母さんたちとの出会いがありました。イベント出店の際は、長蛇の列に一致団結、エンジン全開！地域での新たな仲間と一緒に過ごす時間は、とても新鮮で心地よいものです。

ボランティア活動は大変なこともあります。家族の理解と協力、仲間に助けられてやる気も生まれます。もし悩んでいる方がいたら、私のように一歩を踏み出すことを勧めます。社協はおやじを応援してくれるところですから…(激励の叱咤あり)。

## 全国社会福祉協議会 保育所のためのしせつの損害補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索 保険料試算ができます

### 有利な補償と割安な保険料です

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営している認可保育所です。

#### プラン1 保育所業務のための補償

- ①基本補償
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- ②個人情報漏えい対応補償
- ③保育所の什器・備品損害補償

必要な補償を3つのプランでご用意しました

#### プラン2 保育所利用者のための補償

- ②園児の傷害事故補償
- ③園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

#### プラン3 保育所職員のための補償

- ①保育所の労災上乗せ補償
- ②保育所職員の傷害事故補償
- ③保育所職員の感染症罹患事故補償

プラン1-0		補償額	年額保険料	
賠償事故に対応	対人賠償(1名・1事故)	1億・7億円	園児1~50人	17,300~22,700円
	対物賠償(1事故)	1,000万円	園児51~100人	23,900~29,300円
	受託・管理財物賠償(期間中)	200万円	園児101人~150人	30,500~35,300円
	うち 現金補償限度額(期間中)	20万円	加入例	
	人格権侵害(期間中)	1,000万円	園児50人	保険料22,700円
	初期対応費用(期間中)	500万円	園児100人	保険料29,300円
おのり賠償	見舞費用(期間中)	10万円		

プラン2-3	補償額(1口あたり)	年間保険料	
死亡保険金	103万円	1名/1口あたり	530円
後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険全額の3~100%	加入例(1口加入)	
入院保険金(1日あたり)	800円	園児60人	31,800円
手術保険金	8,000円・16,000円・32,000円	園児80人	42,400円
通院保険金(1日あたり)	500円	園児100人	53,000円

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「転落総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記をお願いします。

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会  
(引受新事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(5/12-11/34 2013.2.6作成)

## 「社会的孤立」とは何か④

# 老いと向き合う暮らしと「社会的孤立」

戦後生まれのいわゆる「団塊の世代」が後期高齢者（75歳以上）となる2025年。全国に比べて高齢化率が低い本県においても、65歳以上の高齢者が4人に1人となり、超高齢社会を迎えることが予想されています。子育てや仕事がひと段落した後、70代80代を迎えるまでの時間をどのように過ごし、人生を締めくりたいか。「終活」「エンディングノート」など高齢期を迎えるための学びや準備、近隣とのつながりにあらためて関心が向けられています。

そこで今回は、(N) 神奈川県介護支援専門員協会理事長の成田すみれさんにお話を伺い、老いと向き合う暮らしと「社会的孤立」について考えていきます。

## 新たな高齢者層の急増と暮らしの多様化

2005年から35年にかけて、本県の高齢者人口の急増が予想されています。また県内には、住まいと離れた地域で就業している人が多く、居住地域での結びつきが弱くなりがちであるとの指摘もあります。

国では、この超高齢社会の到来を見据え、身近な地域での切れ目ない支援体制づくりを目指した「地域包括ケアシステム」を打ち出し、平成27年度の介護保険制度改正の一つとして、地域支援事業の再編に舵を切りました。そこでは要介護認定での「要支援者」が利用する介護予防事業のうち、訪問介護・通所介護について、全国一律の介護保険サービスから、市町村の実施する地域支援事業に移行する方向で検討を進めています。

「誰とどのように生活していくか、暮らしの選択肢は多様化している。暮らしが簡単には周囲に伝わらないという、ある意味で孤立した暮らしを選択することは、私たちのこ



お話を伺った成田さん

**(N) 神奈川県介護支援専門員協会**  
介護保険制度がスタートした2000年に設立。「質の高いケアマネジメントの実現のため、保健・医療・福祉のチームケアの推進等に関する事業を行い、要介護者等の生活全般の支援に寄与する」ことを目的に、研修・調査研究・地域連携事業等を行う。

く一般的な価値観になっていると思う」と成田さん。暮らし方も生き方も、一概にはパターン化できない時代に高齢期を迎える人たちと、地域社会とのつながりをどのようにつくっていくか、課題の奥深さを語ります。

### 事例「まだまだ一人で大丈夫だから」

持ち家で40年間ひとり暮らしを続けている70代後半のAさん。30代で結婚・離婚し、子どもとは疎遠です。離れて暮らしていた両親は50代のころに他界しました。

60歳で定年退職を迎えたAさん。季節ごとに洋服を買いに出かけたり、海外旅行に行ったり、職場の仲間に誘ってもらった囲碁教室で、思い出話することが楽しみです。

70歳を過ぎたころ、内臓に病気が見つかり、初めての入院。退院後、足腰に痛みが走るようになると、これまでは都内に出かけていた買い物も近所で済ませるようになり、囲碁教室にもなかなか足が向かなくなりました。

70代後半を迎えると、季節が変わる時期に民生委員児童委員のBさんが訪ねてくるようになりました。「お身体の調子はどうですか。最近困っていることはありませんか」との声掛けに「まだまだ大丈夫。それなりに大変なこともあるけれど、手伝ってもらうほどのことではないよ。一人で大丈夫だから。いつもありがとう」とAさんは応じます。

そしてある日、近隣住民から「Aさん宅の2階のカーテンが開けっ放しで夜中もずっと電気がついていて」と、Bさんに電話がありま

した。役所に相談し、警察と一緒にBさんが家に入ると、そこにはリビングで一人倒れ、亡くなっているAさんがいました。

## ゆいぐん「閉じこもり」暮らして

Aさんの暮らしは、成田さんにどのようなであったのでしょうか。

「老いていくことは、少しずつ『閉じていく』ことに似ています。退職後に社会とのつながりが薄れると、人間関係も身近な生活圏へと縮小していくものです。そして事例のAさんのように、心身機能の衰えが重なることで老いの連鎖が起り始めます。

老いは誰もが直面することですが、そこには『できなくなる』『弱っていく』『自分自身に直面する苦しさや悲しさがあり、心身の変化を受け入れることはことのほか難しいものです。特に単身生活の方は、生活の中で刺激を受ける機会、人との交流の機会が少なくなり、心身の不健康につながりやすくと感じます。

もちろん個人差はありますが、定年退職を迎えた以降、介護サービスを必要とするまでにはおよそ20年の期間があります。老いと向き合う時間はとても長いものです。家庭機能や地域機能の低下、つながりの希薄化とは言うものの、長く同じ地域に生活していれば、何らかのつながりがあるはず。これまでのような隣近所の関係ではなかったとしても、その人の暮らしの中で必ず誰かとかわわっているはずです。

地域のサークル活動に参加している方たちにきっかけを尋ねると、周りから声を掛けら

れ、『メンバーにはならないけれど、手伝いならやってもいい』と参加し始めた方が多いことが分かります。最初は適度な距離を保ちつつ、グループの雰囲気確かめながら輪に入り、徐々にその場に馴染んでいくことで『高齢者』の一人となっていくようです。ただ、身近な地域とつながりたくないと考えている人や、つながりたいと思っても上手くつながっていない人もいます。

高齢期の制度施策の屋台骨として介護保険制度の持つ意味は大きく、生活支援の重要な基盤になっていますが、サービス体系に合わせて支援ニーズを拾い上げても、一人ひとりの生活全体に寄り添うことはできません。

私たち福祉従事者には、仕組みの中では解決の難しい生活課題を発信する役割があると思います。たとえばケアマネジャーは、比較的重度の方々の生活に触れることで、老いとも現れる変化を見極める目を養っています。サービスを利用する方たちの支援だけでなく、その周辺にある生活課題を抱えた人たちの存在に気づき、身近な地域の課題として整理し、地域包括ケア会議等を活用して伝えていくことが求められていると思います」

## このまちで老いていくために

身近な地域を離れ、働く場に生活の中心を置き、雇用の仕組みの中で人とのつながりをつくってきた世代。高度経済成長期にさまざまな分野の第一線で活躍するともに、多様なライフスタイルや価値観を育んできた世代は、超高齢社会を迎える地域においても活躍

が期待されています。その反面、そうした多様な性や地域でのつながりの弱さがあるが故に、その存在が見えにくくなっている傾向も見られます。

制度面においては、介護保険制度の改正に向けて、地域の実情に沿った予防支援メニューや、NPO・住民団体等の多様な活動主体の参画によるサービスの広がりに期待が寄せられています。一方で、担い手の確保や利用料負担など、市町村格差への懸念も挙がっています。

高齢期の孤立は従前から課題とされてきましたが、本人からの利用希望と契約で成り立つ仕組みでは、必要な支援につながりづらい方も多く、地域の自主的なつながりづくりの取り組みに頼るばかりでは限界も見えていきます。核家族化の進行や介護サービスの普及によって、徐々に老いていく・閉じていく暮らしを目にする機会が少なくなり、働く世代は、一人の高齢者として地域とのかかわりの中で生活していくイメージを持ちづらくなっているのかもしれない。

成田さんは「地域の仕組みづくりには『このまちで老いていく』という意識のある住民の参加が欠かせない。新たな高齢者層は、新たな地域の活力でもある。支援する・される関係だけでなく、暮らしの当事者である地域住民、さまざまな老い暮らしに寄り添ってきた福祉関係者がかかわり合い、地域の中で循環する仕掛けをつくっていくことが大切ではないか」と投げ掛けています。

（企画調整・情報提供担当）

## 第16回介護支援専門員実務研修受講試験 合格状況

平成25年10月13日、第16回介護支援専門員実務研修受講試験を県内5カ所（慶應義塾大学他）の会場で実施しました。

受験者数は7451人、合格者は1335人、合格率は17.9%で、昨年度より3.2ポイント減となり、過去最低となった平成23年度の合格率（17.87%）に並ぶ、厳しい結果となりました。近年は受験者・合格者とも福祉分野の方が8割以上と多

く、その中でも介護福祉士が7割以上を占める状況となっています。また男女比は3.7で試験開始当初からあまり変わりません。合格者の平均年齢は42.8歳となりましたが、70歳代の方がいる一方で、平成生まれの介護支援専門員も誕生するなど、幅広い年齢層の受験者がいることが分かりました。

合格者に対する実務研修は、2月上旬から、本会並びに横浜市社協で実施します。  
(福祉人材研修・介護支援専門員支援担当)

## 平成25年度介護支援専門員実務研修受講試験 職種(資格)別合格状況

職種	合格者数(人) ( )内は昨年度	比率(%) ( )内は昨年度
介護福祉士	948 (1,125)	71.0 (69.6)
社会福祉士	108 (125)	8.1 (7.8)
看護師	60 (75)	4.5 (4.6)
介護等業務従事者	40 (62)	3.0 (3.8)
相談援助業務従事者	39 (44)	2.9 (2.7)
理学療法士	32 (39)	2.4 (2.4)
作業療法士	21 (24)	1.6 (1.5)
薬剤師	15 (14)	1.2 (0.9)
准看護師	8 (5)	0.6 (0.3)
歯科衛生士	8 (12)	0.6 (0.7)
あん摩マッサージ指圧師	8 (9)	0.6 (0.6)
はり師	8 (9)	0.6 (0.6)
保健師	7 (12)	0.5 (0.7)
言語聴覚士	7 (4)	0.5 (0.2)
栄養士(管理栄養士含む)	7 (28)	0.5 (1.7)
精神保健福祉士	6 (9)	0.4 (0.6)
柔道整復師	5 (12)	0.4 (0.7)
医師	4 (2)	0.3 (0.1)
歯科医師	4 (5)	0.3 (0.3)
助産師	0 (3)	0 (0.2)
計	1,335 (1,618)	100.0 100.0

※「助産師」「視能訓練士」「義肢装具士」「きゅう師」の合格者なし

県下の障害福祉事業所(就労継続B型事業所等)で制作されている自主製品コンテスト

## 「第2回きらっと輝く製品コンテスト」受賞製品が決定しました！

平成25年12月18日、はまぎんホール(横浜市西区)にて、「第2回きらっと輝く製品コンテスト表彰式」が開催されました(実施:神奈川セルプセンター、後援:本会他)。昨年の本紙11月号でもご紹介した通り、今回は54製品が応募した中、食品・非食品の部門別に、最優秀賞・優秀賞・努力賞・特別賞として計29事業所が表彰を受けました。審査結果の講評では、審査委員長より「一目で昨年より全体的にレベルアップしていることが分かり、正直驚いた」とのコメントが寄せられ、障害者就労継続支援・生活介護等事業所の皆さんの技術の確かさや、製品に取り組む意識の高さが評価されました。冷たい雨にもかかわらず、300席を埋め尽くす利用者や関係者が集まり、優秀な成績をおさめた事業所に惜しみない拍手が送られました。

(社会福祉施設・団体担当)



食品部門で最優秀賞を受賞した「セルプきたかせ」の利用者代表

表彰結果など、詳しくはホームページ(<http://www.kyodo-juchu.com>)に掲載中です

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により安心と安全を提供します。防犯カメラや新型AEDも取扱っております。

**京浜警備保障株式会社**

代表取締役社長 **岡本誠一郎**

本社 〒221-0056 横浜市神奈川区金港町3番地10 金港ビル4F内  
(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1527

一般社団法人  
**神奈川県福祉研究会**  
福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)  
同 辻村 祥造(☎045-311-5162)  
同 西迫 一郎(☎046-221-1328)  
同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)  
代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい  
デザイン・印刷・ホームページ制作



**KKI きかん印刷**  
株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒238-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12  
営業部 TEL045(785)1700代 FAX045(784)9902  
制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588  
<http://www.kki.co.jp/>

## 【本会主催】 かながわ福祉人材センター事業のご案内

### 「福祉のしごとフェア2013」

- ◇日時＝①1月25日(土)、②2月15日(土)両日とも午後0時30分～4時(正午受付開始)
- ◇会場＝県社会福祉会館1・2・4階
- ◇内容＝①福祉の職場就職支援ガイダンス、福祉施設等就職相談会、②福祉施設等就職相談会
- ◇対象＝福祉の仕事に関心のある方、福祉分野に就労を希望される方  
※①福祉の職場就職支援ガイダンスのみ定員があります  
※事前申込不要、履歴書不要

### 「土曜日特別プログラム」

- ◇日時＝毎週土曜日(休館日・年末年始を除く)午前9時～11時30分、午後1時～5時
- ◇会場＝かながわ県民センター13階 かながわ福祉人材センター
- ◇内容＝①就活専門相談(履歴書の書き方、採用面接の受け方やマナー、福祉の仕事について等)、②就職活動対策DVD上映、③メンタルコミットロボット「パロ」の体験コーナー
- ◇対象＝福祉の仕事に関心のある方、福祉分野に就労を希望される方
- ◇問合先＝かながわ福祉人材センター  
☎045-312-4816 FAX045-313-4590  
E-mail jinzai@knsyk.jp

## 【本会主催】「災害発生初期対応施設職員ノウハウ研修」のご案内

- ◇テーマ＝支援体制の受け入れ、社会福祉法人としての地域との接点
- ◇日時＝2月17日(月)午前9時～午後4時30分、2月18日(火)午前10

- 時～午後4時30分(2日連続)
- ◇会場＝県社会福祉会館2階 講堂
- ◇対象＝県内の社会福祉施設等の職員で、災害時にリーダー的な役割を担うことが期待される方  
※本会からの事前アンケート、事後調査に協力できる方
- ◇定員＝50名(事前申込・先着順)
- ◇申込方法＝所定の申込書をファクス
- ◇申込締切＝2月7日(金)
- ◇問合先＝社会福祉施設・団体担当  
☎045-311-1424 FAX045-313-0737  
E-mail sisetu@knsyk.jp

## 【本会主催】「ボランティア活動実践交流会」のご案内

- ◇テーマ＝孤立しない、させないための支えあいをつくる
- ◇日時＝2月21日(金)午後1時～4時30分
- ◇会場＝県社会福祉会館2階 講堂
- ◇対象＝ボランティア、地区社協・自治会、NPO、当事者団体、自助グループ、市町村社協等
- ◇定員＝120名(事前申込・先着順)
- ◇申込方法＝所定の申込書をファクス
- ◇申込締切＝2月14日(金)
- ◇問合先＝地域福祉推進担当  
☎045-312-4815 FAX045-312-6307  
E-mail tiiki@knsyk.jp

## 「第10回かながわ地域リハフォーラム」のご案内

- ◇テーマ＝地域包括ケアにリハビリテーションを!
- ◇日時＝2月8日(土)午後1時～4時30分(午後0時30分受付開始)
- ◇会場＝かながわ労働プラザ3階ホール(横浜市中区)
- ◇対象＝関心のある方

- ◇定員＝200名(事前申込・先着順)
- ◇申込方法＝所定の申込書をファクス、またはホームページ上の専用フォームから申込み
- ◇申込締切＝1月31日(金)
- ◇問合先＝神奈川県総合リハビリテーションセンター地域支援センター  
☎046-249-2602 FAX046-249-2601  
URL <http://www.chiiki-shienhp.kanagawa-rehab.or.jp/>

## 【(公社)神奈川県社会福祉士会「実践発表大会」のご案内

- ◇テーマ＝いま、私たちにできること
- ◇日時＝2月22日(土)午前10時～午後5時
- ◇会場＝ウィリング横浜5階 501～503号室(横浜市港南区)
- ◇対象＝関心のある方
- ◇定員＝100名(事前申込・先着順)
- ◇申込方法＝所定の申込用紙をファクス、またはホームページ上の専用フォームから申込み
- ◇申込締切＝2月12日(水)
- ◇問合先＝(公社)神奈川県社会福祉士会  
☎045-317-2045 FAX045-317-2046  
URL <http://www.kacsw.or.jp>

## 寄附金品ありがとうございました ※3面参照



県内児童養護施設等へクリスマスケーキをいただき、神奈川県ヨタ自動車(株)金子勝治部長(左)へ感謝状を贈呈

## — 社会福祉施設の設計監理 —

# 株式会社 安江設計研究所

東京都港区高輪 2-19-17-808  
Tel 03 (3449) 1771(代) / Fax 03 (3449) 1772  
E-Mail [yasue@yasue-sekkei.co.jp](mailto:yasue@yasue-sekkei.co.jp)  
URL <http://www.yasue-sekkei.co.jp/>

新築・増築・改修の他、耐震診断・建物定期報告・  
アスベスト調査等お気軽にご相談ください

● 印刷の事ならおまかせください

● インフレット・冊子・パンフレット・冊子の装訂・ポスター・名刺

お気軽にご相談ください!

株式会社 **あんざい**

横浜市港南区下永谷 3-24-29  
TEL 045-822-8497  
FAX 045-824-1303  
mail: [anzai@p-anzai.jp](mailto:anzai@p-anzai.jp)

## 第27回ともしび絵本コンテスト「ともしび大賞」受賞作品

### 『ひとりぼっちの ロボット』



東海大学付属相模高等学校  
2年 渡辺 亮斗さん

今回、「ともしび大賞」を受賞した渡辺亮斗さんは、美術部に所属しています。やわらかで繊細なタッチと美しい文字に、優しい人柄が表れている作品です。動物と対照的に無機質なロボットを主人公にすることで、周りから見た目で差別を受けていることの寂しさを表現しました。「みんなが心を開いていくことでつながりができる。つながりを大切にして、すべての人が平等で助け合える社会になってほしい」と、はにかんだ笑顔の瞳には輝く未来が見えました。 (地域福祉推進担当)



① 遠い遠いととても遠い街から一人のロボットがやってきました。そのロボットには心があり人を助ける優しさをもっていました。

その日、ロボットは森で他の動物におそわれてケガをしていた子どものライオンを助けました。



② ライオンは初めて見るロボットの姿におどろきましたが、彼の優しさを見て恐怖はなくなりました。

「助けてくれてありがとう。」  
「どういたしまして。」



③ それから力の強いロボットは倒れてきた木にはさまってしまった年寄りのフクロウや高い木にのぼって降りられなかった猫、

他にもケガをしたキツネ、病気のリスなどたくさんの動物たちを何年もの間助けていました。しかし、動物たちはロボットと仲良くしようとはしませんでした。



④ ロボットが初めて森に来てから長い年月がたったある日のことです。彼は自分のことより他の動物たちを助けてばかりいたので、とうとう故障して動けなくなってしまいました。しかし動物たちは遠くから見ていただけで助けようとはしませんでした。姿の違うロボットが怖かったからです。



⑤ 「僕たちはずっと前から彼に助けられてきたじゃないか。今度は僕たちが助ける番だよ！」

林の中から突然たてがみの立派なライオンがさげびました。そのライオンはロボットが初めて助けたあの子どものライオンでした。その言葉を聞いたとき動物たちは今までロボットにしてもらったことを思い出すと助けようとしなかったことが恥ずかしくなりいてもたってもいられなくなりました。



「今まで助けられなくてごめん。」  
「私たちずっとあなたに助けられてばかりだったのに。」  
動物たちは何度も何度もあやまりました。でもロボットには皆が心をひらいてくれたように思えてそれが嬉しくて嬉しくてひとこと「助けてくれてありがとう。」とそれだけ言って皆にかこまれながら幸せそうに眠りました。

## 医療・福祉界の健全発展に資することが私たちの使命です。

医療・福祉業界の皆様が抱える様々な問題の解決に向けて、経営コンサルティング・税務会計・会計監査などの専門サービスを総合的に提供できる体制を整備しております。



川原経営グループ

(株)川原経営総合センター／税理士法人川原経営

- ◆福祉経営・医業経営コンサルティング
- ◆福祉施設・医療機関への人事コンサルティング
- ◆福祉施設・医療機関に特化した税務会計・代行
- ◆福祉施設の第三者評価事業 など



福祉施設の皆様が地域のニーズに応え、時代や政策に適切に対応できるようご支援します。お気軽にご相談下さい。

東京都中央区銀座 8-11-11 TK 銀座 8 丁目ビル  
TEL (03) 3572-3051 E-mail: info@kawahara-group.co.jp  
URL : <http://www.kawahara-group.co.jp/>

「福祉タイムズ」は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています



# 神奈川県社協

## ホームページのご案内



社会福祉法人  
神奈川県社会福祉協議会  
Kanagawa Prefecture Council of Social Welfare

住民の主体的な参加と  
公私協働による誰もが安心して  
生活できる地域づくりの推進  
～ともに生きる福祉社会づくりをめざして～

1

2

3

お知らせ INFORMATION

- 12月27日 かながわ福祉人材センター「福祉の仕事ミニフェアin相模原」を開催します
- 12月25日 かながわ福祉サービス第三者評価推進機構「評価調査者募集情報」を掲載しました
- 12月25日 「看護師再就業支援セミナー」を開催しています！
- 12月25日 かながわ権利擁護相談センター「権利擁護ネットワーク支援・地域福祉推進セミナー」(1/31)を開催します
- 12月24日 福祉に関する図書あっせん「居室サービス計画ガイドラインver.1～エンパワメントを引き出すケアプラン」・「新保育士養成講座」・「民生委員児童委員必携第58集」のご案内を掲載しました
- 12月20日 かながわ福祉人材センター「土曜日特別プログラム」をスタートします！
- 12月19日 福祉のしごとフェア2013「第3回就職相談会」(1/25)の求人一覧を掲載しました
- 12月16日 階層別研修「マネジャー研修Ⅱ～専門職連携の職場を目指して」の申込受付を開始しまし

★県内社会福祉施設・団体の情報、福祉の仕事・就職に関する情報、資格取得に向けた研修のご案内など、神奈川県福祉に関する情報が満載です！

★平成24年度アクセス件数 637,174件  
(月平均53,098件)

### ポイント①

知りたいこと・探している情報から検索できます

### ポイント②

事業ごとに、調査報告書や関係資料、研修会等のご案内等を掲載しています

### ポイント③

本会にお問い合わせをいただいている内容をまとめています

<http://www.knsyk.jp>

神奈川県社協

検索

### 知る・調べる

神奈川県内の福祉拠点の基本情報や、  
本会のおすすめする図書情報を掲載！

- 社会福祉施設・団体の検索
- 県内市町村社協の検索
- 福祉に関する図書あっせん ほか

### 参加する

さまざまなかたちでの地域福祉活動への  
参加についてご案内しています

- ★ボランティア募集情報(ボランティア保険)
- セルフヘルプ・グループのご案内
- ★セミナー・イベント情報
- 助成金情報
- ご寄附・ご寄贈のご案内 ほか

### 相談する

お困りのこと、ご相談ください

- 社会福祉法人経営・福祉施設運営相談
- 総合生活相談支援「かながわライフサポート事業」
- ★ボランティア相談
- ★福祉の仕事相談
- ★福祉サービス第三者評価受審相談
- 高齢者・障害者の権利擁護相談
- 成年後見制度相談
- 福祉サービスの利用に関する苦情相談



### 働く・学ぶ

福祉の仕事や、福祉従事者の  
研修情報もりだくさん！

- ★福祉の仕事・就職に向けたご案内やイベント情報
- ★福祉従事者向けの研修
- ★介護支援専門員の試験・研修
- ★介護職員初任者研修
- 介護福祉士修学資金貸付制度 ほか

### 県社協からのご案内

本会で発行している資料の情報や、  
貸し会議室のご案内などをお伝えします

- 会員・賛助会員募集
- ご寄附のお願い
- ★社会福祉会館(貸し会議室のご案内)
- 反町月極駐車場のご案内
- 機関紙「福祉タイムズ」
- ★本会発行資料(※)



福祉サービスの第三者評価結果も  
簡単に検索して閲覧できます

★は、特に人気のあるページです！



※「本会発行資料」のページでは、調査報告書や事例集等をご紹介します



福祉の職場の研修計画・実践マニュアル／神奈川県における市民後見人養成のあり方について(第一次報告)／市町村社協活動現況報告書／地域主体の権利擁護ネットワーク形成に向けて／社協によるコミュニティワーク実践に向けた提案集 など



### 【本会ホームページについての問合せ先】

社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会  
総務企画部 企画調整・情報提供担当

☎ 045-311-1423

FAX 045-312-6302



<http://www.knsyk.jp>

神奈川県社協

検索